

社協の事業
社協の重点目標

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 財政基盤、組織基盤の整備 |
| 2 | 福祉に関する住民意識の高揚をめざす啓発宣伝 |
| 3 | 住民参加による地域福祉、在宅福祉の総合的推進 |
| 4 | 利用者の立場に立った介護保険事業の推進 |
| 5 | ボランティア活動の推進 |

やさしい心を育てる懇談会
～やさしい心を育てよう地域で 家庭で 学校で～

日時 11月25日(土) 会場 飯山小学校
主管：福祉教育推進連絡協議会



◆開催趣旨
「やさしい心を育てる懇談会」は、すべての人が幸福感と生きがいの持てる地域づくりを目指して、地域・学校・家庭が相互に連携を深め、お互いの取り組みや関連する情報を交換することで「思いやりの心」を育む福祉教育を効果的に進めるために開催する。

◆今年のテーマ
子どもたちの安全を守るために地域は何ができますか？
地域・家庭・学校において安全・安心について考える

秋津地区の事例発表を聞いた後、地区ごとに分散会を持ち、子どもたちに関わる取り組みについて話し合う。

◆提案
各分散会から
☆挨拶をとおして子どもたちにもやさしさを教えよう
☆子どもにとって顔見知りの大人になろう
☆子どもたちが地域に目が向く「しかけ」を作ろう
☆行事や活動を通して子どもたちを認め、人間関係を深めよう
☆子ども地域での行事をとおして、人を見抜く力を身につけよう
☆地域の行事の中で、子どもたちが主役になれる場を作ろう
☆高齢者の活動に、子どもたちも参加させよう

事例発表
秋津の子どもを考える会
丸山宗明氏
次世代の地域の子どもたちが「たくましく」「明るく」「やさしく」人間性豊かに成長し、地域をいっそう発展させると共に、自らの生活を切り開いて生きる大人になつて欲しいとの願いから、学校と地域が全体で問題を取り上げられる場が必要と考えた。

このため「小学校」「家庭」「地域」が連携し、地域の子どもに対する取り組みを多方面から考え、各団体が効果的、効率的な活動を進めるための連絡会として平成16年に発足した。

・いろいろな世代の方が集う、こつこつ機会はないので有意義でした。
・この話し合いの内容

- 活動目標
- ★子どもと大人があいさつできる地域づくり
 - ・小学校が進めているあいつ運動を地域一体で取り組む。
 - ★社会教育への地域住民の活用
 - ・あきつ達人バンクの整備(様々な得意分野を持つた人を名簿登録し活用する)
 - ★こどもの行事に関する各団体の連携
 - ・年間行事カレンダーの作成をし、事業の調整をする。
 - ★児童の安全対策
 - ・通学路危険箇所マップの作成
 - ・地区内の「子どもを守る安心の家」の点検
 - ・見守りボランティアの立ち上げ



を全市に伝えて欲しいと思います。
・下校時の我が子への心配は募るが仕事があり、どうすることもできない。地域で見守っていたことは、親子ともども安心しています。
・安全を守るためにも、やさしい心を育てるためにも、子どもが認められ、受け入れられ、守られている安心感を、実感できる地域のあり方が大切だと思います。

湯の入荘同好会発表会

日時 12月2日(土)
会場 老人福祉センター湯の入荘

12月2日(土)、老人福祉センター「湯の入荘」の同好会の発表会が開かれました。
日ごろの練習の成果を発表し合う年に1回の発表会は、綿あめ、おでん、笹寿司などの販売もあり、利用者の皆さんの楽しみとなりました。
この同好会には、ダンス、カラオケ、パソコン、盆栽作り、ゲートボールなどたくさん活動があります。いつからでも仲間になれます。一緒に活動しませんか？



民謡同好会の発表

理事会報告

石田正人市長が、飯山市社会福祉協議会会長に就任され12月1日、理事会を開催しました。会員の声により反映でき、社協経営について責任の持てる理事会体制が検討され、合わせて評議員会の構成も検討されました。
12月4日に、開催された評議員会で議決され、平成19年度から新体制でスタートすることになりました。

新理事会の構成15名

- 地区代表理事 1名
- 区長会長が推薦する者 10名
- 学識経験者 1名
- 民生児童委員協議会 1名

を代表する者 1名
・地域福祉に造詣が深い者 3名
■社協関係者 1名
■社協職員 1名
理事会

